「フライングディスク」の様子

スポーツボランティアプログラム

八王子市立愛宕小学校「スポーツ体験会」報告

2018/08/23

八王子市立愛宕小学校　スポーツ体験会

8月23日（木）、八王子市立愛宕小学校にて、スポーツボランティアプログラムの3年目（リーダー）の学生と2年目（サポーター）の学生が中心となって企画した「スポーツ体験会」を実施しました。

当日参加した14名のメンバーに加え、これまでの準備には、当日来られなかった多くの学生も参加していました。「どのような流れで体験してもらえばいいか」「どうすれば子どもたちに楽しんでもらえるのか」等、各担当ごとに何度も集まり、試行錯誤しながら準備してきました。

「スポーツ体験会」には、愛宕小学校の児童をはじめ、保護者、先生など、40名を超える方々が参加していました。

・「スタンプラリー」

今回のスポーツ体験会は、「ボッチャ」「フライングディスク」「ゴールボール」「クイズ」の各コーナーを回ることでスタンプを集めていく、スタンプラリー形式で行いました。

子どもたちがスタンプを集めていくカード、さらに、スタンプ自体もスポーツボランティアプログラムの学生の手作りです。学生たちは、慣れない作業に手こずっていましたが、子どもたちの反応を想像しながら、楽しそうに消しゴムを掘り、スタンプを作っていました。

・「ボッチャ」

「ボッチャ」は、ジャックと呼ばれる白い的玉にどれだけ自分のチームのボールを近付けられるかを競うスポーツです。東京2020パラリンピックの公式競技ということもあり、多くの注目が集まっています。ボールを投げるちょっとした力加減が難しく、なかなか思い通りにボールを投げられないところやカーリングのように相手のボールをはじく戦略的な投球があるところがボッチャの魅力です。

子どもたちの多くが、ボッチャ初挑戦ということでしたが、ジャックにピタッと寄せる投球をしていたり、相手のボールを上手にはじいていたりと、みるみるうちに上達し、楽しんでいました。試合前に作戦を立ててから試合に臨むチームもおり、チームごとの戦略がぶつかり合う様子も素敵でした。

愛宕小の先生や保護者の方々も体験に参加してくださり、「このスポーツおもしろいな～」と話しておられました。

・「フライングディスク」

「フライングディスク（アキュラシー）」は、アキュラシーゴールと呼ばれる輪の中にディスクを通し入れる競技です。今回の体験会では、ゴールから3m、5m、7m離れたラインを用意し、自分で選んだラインから10回中何回入れることができるかに挑戦しました。

3mラインからは主に小学校低学年の子どもたちが、、5mラインからは主に小学校中学年から高学年の子どもたちが挑戦していました。最高難度の7mラインには、小学生のみならず学生や保護者の方々も挑戦していましたが、なかなかディスクが入りません。しかし、子どもたちは、何度も列に並び、何度も挑戦することで、成功率をどんどん上げていきました。

良い記録が出た時に学生と一緒に大喜びしている子どもたちの姿が印象的でした。

・「ゴールボール」

「ゴールボール」は、視力に障がいのある方を対象に考案された競技です。1チーム3人ずつで鈴の入ったボールを転がし合い、相手のゴールに入れて得点を奪い合います。この競技も東京2020パラリンピックの公式競技になっています。

子どもたちは、アイシェードという道具をつけることで目を隠し、完全に視界を遮ります。すると、まず感じるのが、周りが見えないという恐怖です。自分がどこにいるのか、どの方向を向いているのかが分かりません。

軽く練習し、ボールを転がす、受け止める動作に慣れてきたタイミングで試合を行いました。子どもたちは、鈴の音を頼りにボールを上手に受け止めます。数分前に初めて体験したとは思えないほどの上達ぶりに、学生たちが驚いていました。

・「クイズ」

クイズコーナーでは、「オリンピック・パラリンピックは何年に一回開催されるのか」「ボッチャでは、いくつボールを使うのか」といったオリンピック・パラリンピックに関連するクイズを出題しました。

頭を抱えながら考える子どもには担当の学生が優しくヒントを出していました。全問正解した子どももいたそうです。

「ボッチャ」の様子

「ゴールボール」の様子

「クイズ」の様子

学生手作りのスタンプカード